

平成 23 年度港区立青南小学校経営方針

港区立青南小学校

校長 福永 睦子

1 学校経営の基本的考え方

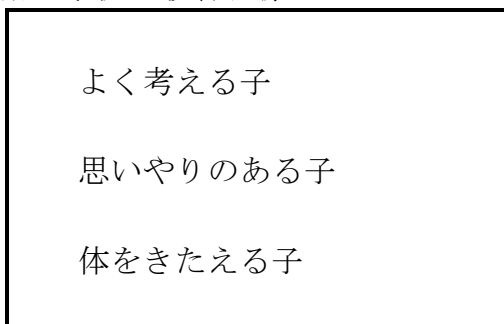
東京都及び港区教育委員会の教育目標を踏まえた青南小学校の教育目標の達成を目指した学校経営を推進する。今年度は新学習指導要領の完全実施の年である。青南小学校らしい質の高い、特色ある教育活動を推進する。

基本的な姿勢

- ◎ 区民に信頼される学校づくり
知徳体のバランスのとれた魅力的な教育の推進
 - 自ら課題を見つけ、自ら思考判断し、課題を解決し、表現できる子供の育成
 - 友達と協力し合い、助け合い、思いやりをもって人と接することのできる子供の育成
 - 健康な体づくりのために日々努力する子供の育成
- ◎ 区民と共にある学校づくり
 - 保護者・地域に開かれた学校
 - 保護者・地域の力を取り入れ、生かす教育の推進
- ◎ 子どもたちが誇れる学校づくり
 - 古きよき伝統を受け継ぎ、夢に向かって挑戦できる学校

気品と風格にあふれた青南小学校のよい伝統を受け継ぎ、心身共に健康で国際社会で信頼される人間の育成を目指す。

2 青南小学校の教育目標



互いに認め合い、高め合いながら、「学力の向上」「豊かな心の育成」「健康な体づくり」を目指す。

知・徳・体のバランスのとれた子供を育てるために保護者・地域と連携を進める。

教職員は、労を惜しまず、授業改善に努める。

(1) よく考える子

自ら思考判断し、表現する子供の育成

- 体験型授業・本物に触れる授業を通して、知的好奇心を揺さぶる。
(興味関心意欲の向上)
- 各教科の基礎基本を確実に身に付けさせる。(習得型の学力の定着)
- 蓄積した知識や技能を他教科や生活において活用する。(活用型の学力)
- 自ら設定した課題の解決に向けて、身に付けた「学び方」を生かす力を伸ばす。
(深化探究型の学力)

(2) 思いやりのある子

自分を大切にすると共に相手も大切にすることのできる子供の育成

- 気持ちのよいあいさつを習慣化する。
- よき人たらんと進んで行動できる子供を育てる。
- 相手の思いやその場の状況を心情豊かに想像する感性を磨く。

(3) 体をきたえる子

運動の楽しさを実感し、進んで体力向上に努める子供の育成

- 基本的な生活習慣を身に付けさせる。
- 正しく美しい姿勢を保てる体力のある子供を育てる。
- 自分のめあてをもって、様々な運動・競技に挑戦する力と技を磨く。

3 教育目標を達成するための基本方針

(1) 長期的な対策

- ア 全教育活動において、人間尊重の精神を基調に、思いやりの心やボランティア精神を身に付けた人間性豊かな子供を育成する。そのために、幼稚園や中学校教育との連携を密にし、地域の一員として、社会に貢献する生き方や将来の進路を考えさせる場を設定する。
- イ 学ぶ喜びを実感し、一人一人の心身の発達や個性・能力の違いを認め合う中で、自他のよさを伸ばそうとする子供を育成する。そのために、家庭と連携して、直接体験的な学習の場や読書を通じた間接体験的な学習の場を意図的にもち、豊かな想像力を醸成する。
- ウ 学校や地域に誇りをもち、社会生活の基本的ルールを身に付けた、創造的で社会性に富んだ子供を育成する。そのために、同窓生や保護者OBなどの地域の教育力を活用しながら、道徳教育の内容・方法をさらに充実・改善する。
- エ 進んで健康の保持増進に努めると共に、自他の生命を尊重し、よりよく生きようとする子供を育成する。そのために、食育・安全教育など、全教育領域を通して心と体の健康についての理解を深め、体力づくりに計画的に取り組む場を設定する
- オ 社会の変化に主体的に対応し、様々な人と共に生きていくための行動力と豊かな国際感覚を身に付けた子供を育成する。そのために、情報モラルや環境問題等、今日的な地球規模での課題に対する関心を喚起し、その解決に向けた実践に結びつく教育を推進する。

(2) 中期的な方策

①「よく考える子」を育てるために

日々の授業の充実…教師は授業で勝負する！

- ・興味関心意欲を高め、知的好奇心を育てる努力をすること。
- ・思考・判断・表現力を育成するために、言語活動をすべての教育活動において重視し、授業改善に努めること。
- ・体験的な学習の学習を取り入れるために、保護者や地域との連携をする。
- ・意図的計画的な教育活動を行うこと。

(年間計画の作成・時数記録・週案簿の提出)

- ・「めあてを明確にした授業」「自分の考えをもたせる時間の確保」「友達と学び合い、自らの考えを広げたり深めたりする時間の確保」「振り返りの時間をとり、1時間毎の評価を大切にする授業」
- ・個に応じた指導の推進をすること。少人数指導 TT 算数習熟度別指導

日々の生活の充実

- ・児童の課題を明確にし、課題解決のために「めあて」を提示すること。
めあてに対して、確実に振り返りをする。
- ・児童の実態を知り、一人一人の児童理解のもと、指導を重ねる。

②「思いやりのある子」を育てるために

- ・社会生活の基本的なルールを身に付けさせる。「青南の子のやくそく」を周知徹底するよう、教員は意図的計画的に指導をする。
- ・「青南文化芸術サロン」を活用し、感性を豊かに育てるための指導を行う。
- ・縦割り班活動を通して、異学年との交流を行い、子供相互の関係を深めるよう、高学年のリーダーシップを育てる。
- ・保護者や地域と連携し、子どもたちを共に育てる。
- ・温かい関係づくりの基本である、あいさつのできる子供に育てる。

③「体をきたえる子」を育てるために

- ・体力づくりを計画的に行う。
- ・食育の推進のために、給食を通して指導を行ったり、保護者との連携を行ったりして推進する。

4 今年度の方策

① 学習指導

- 基礎的基本的な言語力を確実に身に付けさせる。
- 豊かな想像力や柔軟で論理的な判断力思考力や表現力を育てる指導を工夫する。
- 児童同士の学び合い・かかわり合いを取り入れた指導方法を工夫する。
- 適正な評価を行い、指導に生かす。
- 日々の授業の振り返りを行い、授業改善に努める。
- 体験的な学習を積極的に取り入れる。

○問題解決的な学習を取り入れる。

☆読書指導の推進「青南 100 冊」 図書館活用の充実

☆青南文化芸術サロン構想に基づき、日本の伝統や文化や伝統など「本物」に触れる体験を計画的に取り入れる。

② 生活指導

○地域でのボランティア活動や地域や保護者とのかかわりから思いやりの心を育てる。

○「青南の子のやくそく」の周知徹底し、基本的な生活習慣を身に付け、社会性を育てる。

○校外での学習や、様々な人とのかかわりから規範意識を向上させる。

○安全教育の充実を図り、学校内外の安全について具体的な指導を推進する。

○家庭や地域社会との連携を密にし、協力し合って健全育成に努める。

③ 進路指導

○学年発達に応じた生き方指導を行い、社会貢献意識を育てる。

○自分のよさや可能性などに気付かせる。

○様々な職業の方にお話をしていただき、生き方を学ぶ機会をつくる。キャリア教育の充実を図る。

④ 特別活動

☆縦割り活動「ハロー青南フレンズ」を通して、リーダーシップを育成し、「青南の子」としての自覚を高め、連帯感を高める。

○表現活動の場の設定

学芸会 俳句会 集会活動 発表会 等

⑤ 特別支援教育・教育相談

○配慮を要する児童の共通理解を図り、児童理解を深める。

○特別支援の必要な児童は個別支援計画を立て、個に応じた指導の工夫を進める。

○S Cとの連携を密にとり、児童の相談・保護者の相談に気軽に応じられるような体制をつくる。

⑥ 環境教育の充実

☆環境（EMS）全体計画を基盤に「青南みんなでエコプロジェクト」活動を積極的に進める

○「花いっぱい」の推進をする。（P T Aの協力）

⑦ 食育

☆P T A・学校保健委員会の後援のもとに、食育の推進をする。

○給食指導の充実を図る

⑧ 情報教育

☆情報処理能力の基礎を養うと共に、情報モラルの確立を図る。

電子黒板、コンピュータの活用をする。

※ O J T

- ・学年・専科ブロックでの若手育成
- ・担当教員による新規採用教諭の育成
- ・自主的な研究の推進…専門性を伸ばす
- ・校長・主幹による研修会

※ 港区研究奨励校研究発表会

- 一人一人の児童をよく理解し、目指す児童像に向かい、本校教員が一丸となって、研究を推進する。
- 教員が相互に学び合い、授業に対する課題を見つけ、その改善のために研究を推進する。
- 教員が目的を明確にもち、保護者や地域に伝え、共に教育を行うために、発信する。
- 研究の成果を地域や他校の教員に発信する。
- 新学習指導要領の内容を理解し、指導方法の改善を図る。

研究発表会

10月28日（金）

「心・言葉・体」

心と体の健康づくり～家庭と学校の共育力を生かして～

目指す児童像

「認め合い、高め合い、どんなことにも挑戦する子」

※ 港区生涯学習推進科事業

「放課GO→せいなん」

放課後の居場所の提供

場所… 2階 放課GO室

校庭・プレイルーム・屋上等

時間… 放課後5時まで

